

国語科 iコンピテンシールーブリック

自分に最もよくあてはまるものを、1～4のうちから1つ選んでください。

			1 不十分である	2 やや不十分である	3 おおむね身につけている	4 十分身につけている
I 情報 分析 活用 力	I-1	1 課題解決するために、推論の仕方を理解し使うことができる。【現代(2)情報⑨】	推論の仕方を理解しておらず、使うことができない。	推論の仕方を理解しているが、適当な場面で使うことが難しい。	推論の仕方を理解し、適当な場面で使おうと試みることができる。	推論の仕方を理解し、適当な場面において実践的に使うことができる。
	I-3	11 語彙や文法など言葉のきまりについて知識や理解を深め、読解に生かそうとしている。【現代(1)言葉⑨⑩】	言葉のきまりについての知識や理解を読解に生かすことができない。	言葉のきまりについての知識や理解を他者からの助けがあれば読解に生かすことができる。	言葉のきまりについての知識や理解を深め、自らの力で読解に生かそうとしている。	言葉のきまりについての知識や理解を深め、自らの力で読解に生かすとともに、他の言葉のきまりと繋げて考えることができる。
	I-4	16 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。【現代(2)情報⑩】	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解しておらず、使うことができない。	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解しているが、適当な場面で使うことが難しい。	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、適当な場面で使おうと試みることができる。	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解して深め、適当な場面において実践的に使うことができる。
II 論理的 思考 力	II-1	2 主張と論拠など情報と情報との関係について理解したうえで読解することができる。【現代(2)情報⑦】	主張と論拠の区別ができない。	主張と論拠を区別できるが、読解にいかせていない。	主張と論拠を区別し、全体の構成を意識して読解することができる。	主張と論拠を区別し、全体の構成を意識することで読解を深めることができる。
	II-4	17 「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。 →文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できている。【現代(1)言葉⑩】	筋道を立てて自分の考えを組み立てることができない	自分の考えを筋道を立てて組み立てようとするが、説明することが苦手である	自分の考えを筋道を立てて説明できる	自分の考えを「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て、結論を説明できる
	II-5	22 個別の情報と一般化された情報との関係を理解して、説明しようとしている。【現代(2)情報⑧】	具体例を挙げて説明することができない。	具体例を挙げて、わかりやすく説明することができない。	適切な具体例を挙げて、わかりやすく説明することができる。	結論と適切な具体例を順序立てて説明し、相手を納得させることができる。
III コ ミュ ニ ケー ション 力	III-1	3 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的に応じて表現や進行の仕方を工夫することができる。【現代、思考⑩】	話し合いの目的に応じて表現や進行の仕方を工夫することができない。	話し合いの目的に応じて表現や進行の仕方を工夫することができるが、論点の共有はできていない。	論点を共有し、話し合いの目的に応じて表現や進行の仕方を工夫することができる。	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的に応じて表現や進行の仕方を工夫することができる。
	III-3	13 対話による議論ができ、意見をまとめることができる。 →場の状況に応じて、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫しようとしている。【現代、思考⑩】	自分の主張は持っているが、議論することができない。	自分の考えを持っており、話し合いの最後に意見をまとめようとするが、まとめることができない。	相手の意見を踏まえた自分の考えを持っており、話し合いの最後に意見をまとめることができる。	ホワイトボード等を用いてお互いの意見が見える化し、全員で合意に向けてまとめることができる。
	III-4	18 場の状況に応じて資料を用いるなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。【現代(1)言葉⑩⑪】	相手の理解が得られているかどうかを考えずに話し合っている。	相手の理解度が得られているかどうかを考えながら話し合っている。	場の状況を考えながら資料を用いるなど、相手の理解度に合わせて工夫している。	場の状況や相手の理解度に応じて資料を用いるなど、相手の理解度を深める話し合いをしようとしている。
IV 自 律 的 に 行 動 す る 力	IV-4	19 必要に応じてメモをとったり、質問したりすることができる。	文章や相手の話から学び取ろうとすることができない。	文章や相手の話から学ぼうとするが受け身的である。	文章や相手の話から多くを学び取るためにメモをとることができる。	文章や相手の話から多くを学び取るうとし、自分の興味や理解度に応じてメモをとったり、質問をしたりすることができる。
	IV-5	24 引用の仕方や出典の示し方を理解し、自分の考えと他者の考えとを区別して発信することができる。【現代、思考(2)情報⑩】	引用の仕方や出典の示し方についての知識が全くなく、他者の考えをそのまま自分の考えとしてしか発信できない。	引用の仕方や出典の示し方についてある程度の知識はあるが、他者の考えと自分の考の区別をつけて発信することは難しい。	引用の仕方や出典の示し方を理解し、自分の考えと他者の考えの違いを意識しながら発信しようとしている。	引用の仕方や出典の示し方を十分理解し、自分の考えと他者の考えの違いを明らかにして発信することができる。
	V-3	15 読書に親しみ自己を向上させようとしている。【目標(3)】	読書をする習慣がついていない。	読書をする習慣はあるが、自己の向上にはつなげられていない。	読書をする習慣がついており、自己の向上に生かそうとしている。	幅広く読書をする習慣がついており、自己の向上につなげることができる。
V 垣 根 を 越 え る 力	V-4	20 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとしている。【目標(2)】	文章を読んだり他者と話し合ったりするときに、考えることも、共感したり想像したりすることもしようとししない。	文章を読んだり他者と話し合ったりするときに、考えたり想像したりしようとしている。	文章を読んだり他者と話し合ったりするときに、考えることも、共感したり想像したりすることもできている。	文章を読んだり他者と話し合ったりするときに、論理的に考えることも、深く共感したり想像したりすることもよくできている。
	V-5	25 言葉を通した他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。【目標(2)】	言葉を通した他者との関わり合いをしようとししない。	言葉を通した他者との関わり合いをしているが、自分の考えを見直すところまではできていない。	言葉を通した他者との関わり合いの中で、自分の考えについて見直そうとしている。	言葉を通した他者との関わり合いの中で、自分の考えを深めたり広げたりできている。